

## B. 主要な施策の成果



## (1) 総務費



事業名	新庁舎建設事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	02	総務費
担当部署 〔R2部署〕	都市計画課・総務課			項	01	総務管理費
	〔建設政策課	庁舎建設係〕		目	07	財産管理費
事業費		1,123,599,232円	事業の目的・目標	市庁舎耐震診断判定委員会の判定結果及び市庁舎改修整備検討委員会の報告を踏まえて策定した江津市庁舎改修整備基本計画に基づき、シビックセンターゾーン内江津警察署東側敷地に江津市役所新庁舎を建設することにより、耐震性と防災拠点機能の確保並びに市民サービスの向上を図る。		
財源内訳	国庫支出金	42,437,000円				
	県支出金	0円				
	地方債	993,500,000円				
	その他	37,034,000円				
	一般財源	50,628,232円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- 事業期間 H29年度～R2年度 (事業進捗率42.9%)
- 設計業務委託
  - 江津市庁舎新築工事設計業務 (実施設計)
  - 江津警察署進入路改修工事設計業務
- 工事監理業務委託
  - 江津市庁舎新築工事監理業務
  - 地中熱利用設備工事 (第1期) 監理業務
- 建築工事
  - 江津市庁舎新築工事
    - ・地上4階建・鉄筋コンクリート一部鉄骨造
    - 地中熱利用設備工事 (第1期)
    - ・地中熱交換器34本埋設



新庁舎外観パース図 (正面北東側からの眺望)

単位：円

区分	決算額		翌年度への繰越額	備考
	H30繰越	R1年度		
報償費		64,200	0	設計有識者会議委員謝礼
旅費		678,580	0	設計有識者会議委員費用弁償、視察・協議旅費
委託料	6,338,480	4,696,700	5,709,000	設計費、工事監理費
工事請負費		1,103,135,000	224,000	庁舎新築工事費、地中熱利用設備工事費
負担金		2,400,387	0	引込み電柱工事負担金
事務費		6,285,885	0	会場借上費、庁費、職員人件費他
合計	6,338,480	1,117,260,752	5,933,000	

○事業実施の状況

単位：円

区分	H29年度	H30年度	R1年度	合計
報償費	78,800	107,700	64,200	250,700
旅費	481,200	550,160	678,580	1,709,940
委託料	25,738,440	58,436,800	11,035,180	95,210,420
工事請負費	18,660,000	38,895,360	1,103,135,000	1,160,690,360
用地取得費	0	228,890,160	0	228,890,160
負担金	0	0	2,400,387	2,400,387
事務費	928,015	261,805	6,285,885	7,475,705
合計	45,886,455	327,141,985	1,123,599,232	1,496,627,672

○事業の実績



庁舎新築工事 (基礎工事)



地中熱利用設備工事 (熱交換器挿入作業)

事業名	ふるさとづくり寄付金事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	02	総務費
担当部署 [R2部署]	政策企画課	政策企画係		項	01	総務管理費
				目	08	企画費
事業費		38,774,533円	事業の目的・目標	ふるさとへの想いや江津のまちづくりに共感を持つ人々が、地域づくりへ参加できるように寄付金による基金を設置し、その財源を活用し、地域住民福祉のための必要な事業を推進する。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	38,774,533円				

**施策の内容、実績、及び効果**

○事業の内容

「ふるさと納税制度」は平成20年度に地方税法の一部改正により、地方自治体に対する寄付金のうち、2,000円を超える部分について、個人住民税所得割の概ね2割を上限とする金額が、所得税と合せて控除される。

市外在住の寄付者に対しては、今後も江津市とのご縁を大切にさせていただけるようお礼を兼ねて、『ふるさと特産品』を進呈し、江津市の特産品PRと地域産業の活性化を図る。

○令和元年度の寄付の状況

	寄付件数	寄付金総額
通常寄付	2,843件	75,190,200円

○平成20年度からの寄付の累計

	寄付件数	寄付金総額
	25,563件	504,123,732円

参考：過去の実績

	平成20～24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
件数	454件	1,033件	4,466件	7,663件	4,335件	2,950件	1,819件
金額	8,292,100円	13,198,000円	49,456,001円	148,409,871円	96,888,860円	65,410,000円	47,278,700円

○事業の実績

費目	決算額(円)	備考
報償費	306,850	記念品
需用費	73,700	証明書印刷用インク等
役務費	59,654	証明書送料等
委託料	36,062,560	業務委託料、納税管理システム保守料
使用料及び賃借料	2,271,769	ふるさと納税サイト利用料、クレジット決済
合計	38,774,533	

○ふるさとづくり寄付金の活用実績

単位：円

事業の種類	対象事業	事業費	寄付金充当額
① 江の川が育み人麻呂が愛したふるさとの自然、景観を活かしたまちづくり	都市公園植栽管理	10,958,800	5,600,000
	地域景観形成促進事業(シビックセンター植栽管理等)	3,016,116	1,948,000
② 大元神楽、石見神楽等、ふるさとの伝統芸能、文化の伝承に関する事業	文化活動支援事業(再興院展補助金)	2,549,504	2,000,000
	指定文化財保護事業 観光費1(パレットごうつ神楽定期公演謝礼)	129,820 2,650,000	129,820 2,280,000
③ 江の川の豊かな恵みを活かした交流を通じて人々が元気になる事業			
④ ふるさとの子供たちがすくすくと育ち、安心して暮らせるための事業	小学校教育振興費1(コンピューター等)	17,844,960	3,000,000
	中学校教育振興費1(コンピューター等)	12,808,261	2,800,000
	図書館整備費2(図書購入)	2,499,904	2,499,904
⑤ ふるさとの人々がイキイキと、暮らし続けていくための事業	農林水産振興総合事業(6次産業創造戦略会議補助)	1,992,000	1,992,000
合計		54,449,365	22,249,724

○事業の効果

江津市ふるさとづくり寄付金の申し込みについては、申込用紙か1つの民間ポータルサイトにて受け付けていたが、制度の幅広い周知及び寄付希望者の利便性向上のため、11月下旬よりポータルサイトを1つ追加した。その効果として寄付額は前年比約1.6倍となった。  
また、市内事業者訪問等により、返礼品取り扱い事業者を増やすことができ、江津市及び特産品のPRをすることができた。

○特産品の申込数

項目	件数	割合
肉・加工品	1,148	34.8%
水産物・加工品	287	8.7%
農産物・加工品	532	16.1%
その他の食品類	409	12.4%
工芸品	71	2.2%
その他	849	25.8%
計	3,296	100.0%

※1件の寄付で複数の特産品を申し込む場合があるため、寄付件数とは一致しない。

新たに追加された返礼品（例）



蒼楽（30包）（機能性表示食品）



桑の実ジャムセット



[石州勝地半紙]手漉き和紙の猫ベッド「ざ・ぴーにゃっつ



[石州勝地半紙]着せ替え照明



江津クレソン鍋&クレソンサラダセット



[有機JAS認証]有機えごま油

事業名	高野山風力発電所周辺地域活性化支援補助事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	02	総務費
担当部署 [R2部署]	政策企画課	政策企画係		項	01	総務管理費
				目	08	企画費
事業費		1,520,000円	事業の目的・目標	江津高野山風力発電所から概ね1kmの範囲内の連合自治会が、地域の活性化を目指して実施する事業に対し、予算の範囲内で補助金を交付することにより、対象地域の活性化を図ることを目的とする。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	1,520,000円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	円				

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容及び実績

該当地域の連合自治会において実施される防犯灯の設置・維持や、地域の活性化に寄与する事業に対して補助金を交付する。

補助対象連合自治会	補助額	備考
敬川連合自治会	150,000円	・防犯灯維持管理事業
跡市地区まちづくり協議会	250,000円	・防犯灯維持管理事業 ・地域活性化事業
有福温泉町連合自治会	200,000円	・地域活性化事業
二宮町まちづくり協議会	920,000円	・防犯灯設置事業 ・防犯灯維持管理事業 ・地域活性化事業
合計	1,520,000円	

#### ○事業の効果

- 防犯灯の設置や維持管理を行うことで、地域の安全安心を図ることができた。
- 当補助金を各地域における課題解決や地域資源の整備等に活用することで、地域住民の交流や地域の振興に寄与することができた。  
【例：地域コミュニティ管理費、コケプロジェクト事業、防犯カメラ更新、恵良媛祭り等】



防犯カメラ更新



恵良媛祭り

事業名	地域コミュニティ活性化事業		予算科目	会計	01	一般会計	
				款	02	総務費	
	担当部署 〔R2部署〕	政策企画課		地域振興係	項	01	総務管理費
		〔地域振興課		地域振興係〕	目	09	地域振興費

財源内訳	事業費	125,219,455円	事業の目的・目標	過疎化や少子高齢化により地域活動の衰退が進行し、地域の維持が困難な状況となっていることから、地域住民の主体的なまちづくり活動を支援し、住民と行政との協働による地域づくりを推進する。
	国庫支出金	円		
	県支出金	円		
	地方債	66,000,000円		
	その他	8,268,827円		
一般財源	50,950,628円			

施策の内容、実績、及び効果

● センター運営／活動促進

①活動拠点となる交流センターの管理運営

②活動を促進するための研修会等の実施／地域支援員の配置

(単位：円)

歳出科目	センター管理	活動促進	備考
報酬	55,824,000	1,990,800	センター職員/地域支援員報酬
共済費	6,078,401	100,814	雇用保険/社会保険等
報償費	0	0	研修、活動報告の場としてコミュニティフェスを実施
旅費	13,380	16,200	防火管理者講習/県情報交換、視察同行
需用費	15,692,380	533,755	センター光熱水費、修繕料、燃料費
役務費	1,982,279	121,954	電話代、インターネット
委託料	3,655,021	6,540	浄化槽、消防設備点検
使用料及び賃借料	2,656,685	68,747	センター土地借上、AEDレンタル、WS・研修会場使用料
工事請負費	2,689,500	1,160,093	改修工事
原材料費	0	0	
備品購入費	1,393,334	0	施設備品購入
負担金及び交付金	26,000	0	防火管理者講習
計	90,010,980	3,998,903	

● 地域コミュニティ実践事業交付金（平成21年度～）

地域で組織された自治組織（地域コミュニティ組織）が、自ら考え取り組む「地域づくり計画」を実践するため、交付金により支援を行う。

交付団体名	交付金額（単位：円）			備考
	組織運営費	政策課題費	独自事業費	
波積地区まちづくり協議会	300,000	220,000	327,883	・はしまのぼ（サロン）・田植えぼやし伝承・空き家活用
黒松自治区推進協議会	300,000		500,000	・港まつり・特産品づくり・海岸美化・防災対策
都治地区コミュニティ協議会	500,000	220,000	1,073,000	・梅加工品研究・環境整備・高齢者の長寿を祝う
浅利まちづくり振興会	500,000	220,000	510,000	・防災活動・活力のあるまちづくり・地域の連携を深める
松平たすけ愛協議会	550,000	237,000	1,580,000	・交流教室・健康運動・自主防災・農産加工品づくり
わたづコミュニティ協議会	600,000	220,000	-	・わたづまつり・男性料理教室・子供の集い
郷田コミュニティ協議会	700,000	256,000	650,000	・空き家等活用・子どもものづくり教室・グラウンドゴルフ大会
嘉久志まちづくり推進協議会	900,000	220,000	1,000,000	・防災設備品の備蓄・脳活笑楽校・他地区との交流
和木まちづくり協議会	600,000	220,000	1,141,420	・ロシアまつり活性化・子どもの見守り・防災視察
都野津町づくり協議会	850,000	220,000	1,000,000	・会館カフェ・歌声喫茶・文化講演会・高齢者見守り
二宮町まちづくり協議会	900,000	220,000	558,317	・防犯パトロール・水尻川清掃・東屋環境整備（万葉）
跡市地区まちづくり協議会	350,000	220,000	814,938	・加工品開発事業・サロン・代官所跡地整備・コケプロジェクト
敬川まちづくり協議会	500,000	220,000	1,170,000	・防災備品整備・健康教室・サロン・空き家調査
波子まちづくり活性化協議会	350,000	220,000	1,000,000	・カレンダーづくり・ゲストハウス運営・空き家情報提供
有福温泉町まちづくり協議会	300,000	220,000	937,486	・防犯パトロール・環境整備・文化祭・夜景装飾・かぐらBr
長谷里山づくり協議会	300,000	220,000	600,000	・伝統芸能継承・有害鳥獣軽減・環境整備・サロン・梅
まごころ市山	350,000	220,000	1,550,000	・草刈りサポート・防災研修・サロン・生産活動・まごころ市
川戸地域コミュニティ協議会	350,000	220,000	870,000	・視察研修・ほのぼのクッキング・サロン・高齢者訪問
谷住郷まちづくり協議会	300,000	220,000	898,812	・サロン・ラジオ体操・保育園児そば打ち・健康ウォーキング
川越まちづくり協議会	350,000	220,000	944,716	・ごぼうの郷まつり・健康教室・世代間ウォーキング
小計	9,850,000	4,233,000	17,126,572	
総計			31,209,572	

○ 事業の効果

各地区の地域課題解決の取組として、地域の特色や資源を活かした地域づくりや支え合いの仕組みづくり、ひとづくりなど独自の活動を展開しており、本交付金により地域コミュニティ組織の主体的な活動が促進された。

活動報告、研修として実施したコミュニティフェスでは100人を超える参加者があり、活動の情報交換やそれぞれの活動成果を共有できた。また、みんなで一緒に地域づくりを進めていく機運醸成につながった。

事業名	定住促進総合対策事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	02	総務費
担当部署 〔R2部署〕	政策企画課	地域振興係		項	01	総務管理費
	〔地域振興課	地域振興係〕		目	09	地域振興費
事業費		4,957,661円	事業の目的・目標	定住相談員を配置し、移住・定住に関する細やかな支援を行うほか、都市部で開催されるフェア等へ参加し、UIターンを促進する。 また、女性の再就職や起業の支援、結婚支援等により、女性や若者の定住を促進する。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	874,000円				
	地方債	円				
	その他	6,063円				
	一般財源	4,077,598円				

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

##### ①定住相談事業

空き家バンクの運用や情報発信、またワークステーション江津等との連携により、ワンストップの定住相談を実施できる体制を整え、増加傾向にある空き家相談、移住相談に対して、定住相談員が総合的な支援を行い、UIターンを促進する。

##### ②女性の再就職等支援

ワークステーション江津との連携や、補助金の交付等により女性の起業を支援する。（上限200千円の定額助成）

##### ③結婚支援

企業や個人・団体等を対象とした「ごうつ恋活応援団」の登録を促進し、恋活応援団による結婚支援活動を活発化することで、結婚を望む市民の出会いの機会を増やす。

##### ④総合戦略推進業務

複数化にわたる人口減少対策に資する事業のKPI評価等を管理して、適切で効果的な事業推進を図るための調整や進捗の可視化を行う。

##### ⑤地方創生移住支援補助金

東京圏から島根県（江津市）へ移住し、対象法人として登録された中小企業等へ就業した方、または起業した方へ移住支援金を支給する。（世帯：100万円 単身：60万円）

#### ○事業の実績

①定住相談員の配置による定住対策 : 2,779,721円

- 定住相談員配置 1名
- 空き家バンクへの登録件数 30件
- 定住相談 101件、うちUIターン者数27人

②女性の再就職等支援 : 1,000,000円

- 女性のプチ起業補助金 5件（ペットシッター、雑貨・自然食品販売、リサイクル、美容院、接骨院）

③結婚支援 : 130,600円

- 窯焼きピザdeアツアツご縁づくり11/10 定員16人 参加16人
- 異業種交流会 3/27 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- 結婚支援担当者会議 6/17

④総合戦略推進業務 : 47,340円

- 7/18 第一回総合戦略審議会 8/7 第二回総合戦略審議会

⑤地方創生移住支援補助金 : 1,000,000円

- 都市部（東京圏）からの移住に対する支援金交付 1世帯

#### ○事業の効果

- ①定住相談、空き家バンク、HPによる情報発信などをきめ細かく行い、UIターンが促進された。
- ②ワークステーション江津と子育てサポートセンターが連携して、子育て中の女性求職者の支援を常態的に行った。また、女性の起業へ補助金交付を行って事業開始を支援した。
- ③結婚支援では、恋活応援団のイベントを助成し、ご縁づくりを支援した。
- ④総合戦略の審議会を開催し、外部委員からKPI評価、施策評価の審議を行い、有効な事業推進に寄与した。
- ⑤東京圏から1世帯のIターンを支援した。

【参考】令和元年度社会増減 転入等842人 転出等760人 82人の社会増

事業名	定住促進空き家活用事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	02	総務費
担当部署 〔R2部署〕	政策企画課	地域振興係		項	01	総務管理費
	〔地域振興課	地域振興係〕		目	09	地域振興費
事業費		3,696,266円	事業の目的・目標	空き家を活用したUIターン向け住宅の整備を行い、若年世帯を確保することにより集落の機能の維持・活性化を図る。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	1,020,000円				
	一般財源	2,676,266円				

**施策の内容、実績、及び効果**

○事業の内容

UIターン者の受け入れを促進するため、空き家の利活用に係る事業を推進する。

- 総事業費 : 3,696,266円  
内訳) ①空き家バンク事業 (空き家調査等の実施)  
: 765,386円 ※ 公用車リース、燃料費、備品購入
- ②UIターンのための空き家活用促進事業 (空き家改修費補助金、事業費の1/2、上限100万円)  
: 1,847,000円 ※ 5件補助
- ③定住促進集落活性化住宅管理事業 (6戸の住宅を管理)  
: 1,083,880円 ※ 建物借上げ、火災保険料

○事業の実績

- ①定住促進集落活性化住宅管理事業
  - ・管理する住宅 6戸
  - ・入居状況 3戸 7人
- ②空き家バンク事業
  - ・新規登録件数 30件
  - ・空き家バンクによるUIターン者数 21人 (11世帯)
- ③UIターンのための空き家活用促進事業
  - ・UIターンのための空き家改修費補助金交付件数 5件
  - ・補助金交付によるUIターン者数 12人 (5世帯) ※内3人は令和2年度に移住

○事業の効果

- ①定住促進集落活性化住宅は家賃が安価な賃貸物件として、賃貸可能な空き家が少ない状態では貴重な物件となっている。
- ②空き家バンクは、年々制度が浸透してきており、状態の良い物件 (空き家状態になって間もないもの) の登録依頼及び物件に関する市外からの問い合わせが増加している。  
【参考】 電話・窓口等での定住相談 (UIターンフェアは除く) 件数 H28: 19件 H29: 25件 H30: 31件 R1: 66件
- ③UIターンのための空き家改修費補助金は、住まいを探している移住希望者を後押しする制度となっている。

■空き家バンク利用実績

年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	合計
空き家バンク登録物件	20	24	24	33	29	38	42	39	30	25	24	18	16	30	392
空き家バンク物件入居数	10	9	13	18	13	20	16	8	7	8	12	15	11	17	177
空き家バンク利用者数	12	19	34	45	45	46	34	19	20	18	26	25	16	41	400
※うち、UIターン者数	12	15	27	37	36	10	7	10	17	2	16	7	7	21	224
【内訳】															
賃貸物件	10	15	23	29	36	27	14	13	13	3	8	3	8	27	229
江津市定住促進集落活性化住宅	0	0	7	10	9	0	3	2	0	2	0	0	3	0	36
売却物件	2	4	4	6	0	19	17	4	7	13	18	22	5	14	135

事業名	コミュニティビジネス創出支援事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	02	総務費
担当部署 〔R2部署〕	政策企画課	地域振興係		項	01	総務管理費
	〔地域振興課	地域振興係〕		目	09	地域振興費
事業費		4,598,000円	事業の目的・目標	小規模でも地域の課題や資源に根ざしたビジネスを創業する仕組みを整えとともに、起業スキルを持つ人材を受け入れる環境をつくる。		
財源内訳	国庫支出金	2,160,000円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	2,438,000円				

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

過疎化・高齢化が進む本市において、ソーシャルビジネス等の起業を促進し、多様な雇用を創出する仕組みづくりを行うため、ビジネスプランコンテストを開催し、起業しようという熱意のある人材に対し、本市で起業する機会を提供するとともに、プラン実現に向けた創業支援を行う。

#### ○事業の実績

##### ●ビジネスプランコンテスト【委託費4,320,000円】

県内外から7件の提案が寄せられ、1次審査、2次審査（公開プレゼンテーション）を経て、大賞1件を選出した。2次審査会出場者6件のうち、2件が事業を開始している。

##### ●若者世代のU I ターン起業支援補助金【補助金278,000円】

ビジネスプランコンテスト大賞1件（2017年ビジコン）を対象に補助金を交付し、起業を支援した。（羊飼育）

#### ○事業の効果

NPO法人てごねっと石見へビジネスプランコンテストを業務委託。市、江津商工会議所、桜江町商工会、日本海信用金庫、NPO法人てごねっと石見が連携し、応募者に対してきめ細かい支援を行うことで、U I ターン起業の実効性が高まっている。

起業に向けて、ブラッシュアップ勉強会を実施することで、プランを実効性あるものにするだけでなく、地域資源の理解や関係者との協力体制、支援者とのつながり、ビジネスパートナーの発見など、起業の実現性を高める仕掛けが有効に働いている。

また、コンテスト事業を通じて市民や企業がまちのために何ができるか考える機会につながり、民間の活力が地域課題解決のために投入され始めている。

#### ■ビジネスプランコンテスト（Go-Con）実績

開催年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	合計
応募件数	25	23	13	11	13	9	5	7	6	7	119
性別	男	18	16	12	7	6	6	3	4	4	79
	女	7	7	1	4	7	3	2	3	2	40
居住地	市内	6	12	4	3	4	5	4	1	4	47
	市外（県内）	5	4	4	1	3	1	0	2	0	22
	市外（県外）	14	7	5	7	6	3	1	4	2	50
最終審査会進出者	6	7	6	6	6	6	3	6	5	6	57
大賞 受賞者	4	2	1	1	1	1	1	1	1	1	14
うち、創業済件数 (2020.3月末現在)	2	2	1	1	3	5	2	4	2	2	24

※起業件数は出場した年度に計上

事業名	地域の活力創出事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	02	総務費
担当部署 〔R2部署〕	政策企画課	地域振興係		項	01	総務管理費
	〔地域振興課	地域振興係〕		目	09	地域振興費
事業費		7,079,900円	事業の目的・目標	地域の活力を引き出し、地域の魅力を引き出す活動及び関係人口や交流人口・移住者の増加を目的とした事業に対する支援を行い、地域の活性化を図る。		
財源内訳	国庫支出金	2,699,950円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	600,000円				
	一般財源	3,779,950円				

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

##### ① まちひと結び事業

NPO法人や任意団体、地域コミュニティ組織等による交流・移住促進を目的とした取り組みに必要な経費を補助する。（上限300千円の定額助成）

##### ② 外部人材受入促進事業

ふるさと島根定住財団が実施するしまね産業体験や島根地域づくり活動体験の制度を受けて本市へ移住する人に対して体験助成金を支給する。（月3万円、最大1年間）

##### ③ 市民大学

「GO▶GOTSU山陰の創造力特区へ。」というまちづくりの理念を具現化するため、市民自らが先生にも生徒にもなれる市民大学という「学び場を提供する仕組み」を創り、地域や企業の課題解決や魅力づくりを市民が主体的に担う環境をつくる。

#### ○事業の実績

##### ① まちひと結び事業

: 600,000円

- 石見地ビールフェスタ 約2,500人
- LIFEいのち ～うまれることを再体験 152名

##### ② 外部人材受入促進事業

: 1,080,000円

- 体験助成金を支給 6名

##### ③ 市民大学

: 5,399,900円

- 市民大学の名称を「GO▶つくる大学」とし、持続可能な運営体制と魅力ある授業づくりに取り組んだ。
- 授業等実施50回 参加者のべ706人  
授業34回 234人（実数186人） 説明会11回 178人 イベント5回 294人

#### ○事業の効果

①まちひと結び事業を活用した交流事業により、交流人口の拡大だけでなく、地域の課題や魅力を発見する機会を意識した取組を支援するようにして事業効果を上げている。

②しまね産業体験・しまね地域づくり活動体験事業への上乗せ助成により、移住1年目の暮らしが安定したものとなり、定住につながっている。

③GO▶つくる大学で魅力ある授業を開講した結果、年度末に新型コロナウイルス感染拡大防止のため授業を10件以上中止したものの、年間としては参加者数が増加した。授業内容も充実してきている。



GO▶つくる大学の様子



まちひと結び事業の様子

事業名	シティプロモーション推進事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	02	総務費
担当部署 〔R2部署〕	政策企画課	地域振興係		項	01	総務管理費
	〔地域振興課	地域振興係〕		目	09	地域振興費
事業費		2,780,370円	事業の目的・目標	本市の特色ある取組やまちづくり、活躍する人や企業などを魅力的に市内外へ様々な媒体や手法を用いて発信することで、挑戦したい若者やふれあいを求める都市住民の移住を促し、本市との関わりを主体的に持つ『関係人口』や『活動人口』を増やしていくなど、多様な形態での人材の受入を促進する。		
財源内訳	国庫支出金	1,220,000円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	円				
一般財源		1,560,370円				

**施策の内容、実績、及び効果**

○事業の内容

地域の課題解決に取り組む意欲のある若者や地方・起業志向の人材に向け、本市の魅力や実践者の取り組み、起業支援体制などを紹介する活動を重点的に行う。

○事業の実績

- プロモーション旅費 : 94,450円  
東京イベント出展、関係人口拡大のための先進地への視察旅費等  
広島Tサイトブース出展旅費
- シティプロモーション委託 : 2,160,000円  
江津市出身の経営者の店舗（東京都）を会場に、関係人口創出を目的としたイベントを開催した。「創造力」をテーマに、江津市内で活躍する人のインタビュー記事を配信した。
  - ・東京独自イベント : 参加者数41名
  - ・SNSを用いた情報発信 : インタビュー数13名 フォロワー数105名
- サイト運営委託 : 500,000円  
GO・GOTSU! ブランドサイトで市内の実践者の活動を配信することで、本市が「起業・創業に挑戦しやすいまち」であることを情報発信した。
- HPサーバー借上げ : 25,920円

○事業の効果

地方・起業志向の都市部在住の若者や出身者など本市に関わりのある人などに対して継続的に情報発信を行い、UIターンや起業、関係人口の増加に結びついている。



東京でのイベント

広島Tサイトでのブース

事業名	江津ひと・まちプラザ管理事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	02	総務費
担当部署 〔R2部署〕	政策企画課	地域振興係		項	01	総務管理費
	〔地域振興課	地域振興係〕		目	09	地域振興費
事業費		56,439,138円	事業の目的・目標	乳幼児から高齢者までのあらゆる人々が憩い、交流し、活動する場を提供することで、中心市街地に新たな賑わいと活力を創出するとともに、地域を担う人づくりや市民活動を促進する拠点として江津市全体の活性化と住民福祉の増進に寄与する。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	56,439,138円				

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

江津駅前の賑わいの拠点となる公共公益複合施設「江津ひと・まちプラザ パレットごうつ」の運営。

#### ◇支出の内訳

・需用費	116,640円	駐車場ゲートバー修繕
・役務費	45,418円	建物保険料
・委託料	55,271,000円	指定管理料
・工事請負費	1,000,000円	インターホン追加工事（バリアフリー化）
・使用料及び賃借料	4,000円	案内標識土地借上げ
・使用料及び賃借料	2,080円	指定管理説明会会場使用料

#### ○事業の実績（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

##### 1. 各施設の利用者数

施設名	R1利用者数	H30利用者数	H29利用者数
	H31.4.1-R2.3.31	H30.4.1-H31.3.31	H29.4.1-H30.3.31
(1) 市民交流施設	79,552	66,559	53,660
(2) 総合福祉施設	8,412	9,053	9,281
a 江津市社会福祉協議会	3,277	3,578	3,635
b 障がい児・者基幹相談支援センター	370	362	320
c ワークステーション江津	4,765	5,113	5,326
(3) 観光総合情報施設（江津市観光情報センター）	2,996	3,478	8,630
(4) 子育て支援施設（江津市子育てサポートセンター）	7,813	9,650	7,691
合計	98,773	88,740	79,262
※1日平均利用者数	275人	247人	221人

##### 2. 市民交流施設の利用実績（貸館利用）

	R1			H30			H29		
	件数	人数	利用率	件数	人数	利用率	件数	人数	利用率
会議室①	142	3,921	37%	125	3,547	31%	142	4,026	36%
会議室②	329	2,173	67%	304	2,158	63%	292	2,493	63%
和室	142	600	35%	156	748	37%	74	326	19%
キッチン	84	554	23%	98	622	27%	95	487	26%
スタジオ	306	2,216	59%	349	2,291	68%	206	1,399	44%
ホール	124	8,105	33%	120	10,694	31%	114	7,941	28%
フリースペース	294	4,100	61%	296	1,522	62%	170	1,632	36%
交流広場	36	23,427	9%	27	14,488	7%	24	4,509	7%
計	1,457	45,096		1,475	36,070		1,117	22,813	

#### ○事業の効果

中心市街地活性化基本計画で立てた1日平均利用者（137人）の目標数を上回り、中心市街地の賑わい創出に貢献した。

若者フィールドステップアップ事業（若い世代が地域づくりのきっかけをつくる取組）、駅前ハロウィン事業（地域住民の交流を促進する取組）、ヘルスクリエイト事業（地域医療や福祉の新たな連携の形をつくる取組）など、パレットごうつを拠点に推進し、地域活性化と住民福祉に寄与している。

事業名	地方バス路線維持対策事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	02	総務費
担当部署 〔R2部署〕	商工観光課	商工振興係		項	01	総務管理費
	〔地域振興課	地域振興係〕		目	10	地域開発費
事業費		28,827,000 円	事業の目的・目標	公共交通機関である路線バスは、過疎化と少子化の進行やモータリゼーションの進展などにより、利用者は年々減少している。 一方で日常生活を営む上で、住民にとってはなくてはならない路線であることからバス事業者に対して運行補助を行うことによって住民の生活交通を確保する。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	2,110,000 円				
	地方債	円				
	その他	円				
一般財源		26,717,000 円				

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

島根県生活交通確保対策協議会の協議結果に基づき、島根県知事が選定した生活交通路線を運行する事業者に対して、補助対象経常経費と経常収益との差額のうち、国及び県の補助金を除いた残額を路線の延長によって沿線自治体と按分した額を補助金として交付する。

- ・バス運行事業者 石見交通株式会社
- ・補助対象期間 平成30年10月1日～令和元年9月30日

#### ★三江線代替交通

平成30年4月1日付けでJR三江線が廃止されたのに伴い、代替交通として石見交通江津川本線（江津高校前・済生会病院～石見川本）が運行を開始した。これにより、運行本数は三江線運行時の1日5往復から6往復に増加している。

#### ○事業の実績

運行系統	運行キロ	平均回数	乗車密度	補助金(千円)
周布～有福温泉～江津駅前	42.0	6.5	2.6	4,402
周布～宇野～有福温泉	26.3	1.0	1.4	53
江津駅前～大橋東詰～嘉戸塩田口	2.5	1.9	0.2	694
済生会病院～江津駅前～嘉戸塩田口	3.6	1.9	0.1	1,055
周布～西波子～温泉津温泉口	50.5	1.0	2.1	1,273
周布～西波子～済生会病院～江津駅前	31.2	16.5	3.3	6,201
周布～西波子～沖田クリニック～江津駅前	32.6	4.0	3.3	
済生会～江津駅～川戸～石見川本	40.7	5.0	1.7	7,026
江津高校前～済生会～川戸～石見川本	45.7	1.0	3.0	
済生会病院～波積～大家	23.6	0.8	0.2	971
済生会病院～波積～大家回転場	23.0	2.8	0.8	2,844
済生会病院～浅利駅口～波積	13.2	2.0	0.4	3,763
大田市立病院前～宅野口～道の駅サンピコ	38.0	0.5	2.5	56
大田市立病院前～仁万駅前～済生会病院	48.1	4.0	4.3	211
大田市立病院前～大田西中～道の駅サンピコ	39.1	1.1	2.3	143
大田バスセンター～大田西中～道の駅サンピコ	36.0	0.5	0.1	98
仁万駅前～大田西中～道の駅サンピコ	19.9	0.5	2.9	37
合計				28,827

#### ○事業の効果

運転免許保有率の上昇、通学者の減少など路線バスにとって厳しい環境にある中で、補助金交付を通じて、バス事業者による安定的な輸送サービス提供がなされた。

とりわけ、JR三江線廃止に伴い石見交通江津川本線が運行されたことにより、沿線の公共交通の維持確保を実現しただけでなく、便数増など利便性も向上した。

事業名	生活交通バス事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	02	総務費
担当部署 〔R2部署〕	商工観光課	商工振興係		項	01	総務管理費
	〔地域振興課	地域振興係〕		目	10	地域開発費
事業費		14,272,530円	事業の目的・目標	地域住民の交通手段を確保し、公共の福祉に資するため、江津市生活路線廃止代替バス及び江津市生活バスを運行する。また、タクシー事業者との委託契約により、長谷地域相乗りタクシーを運行する。		
財源内訳	国庫支出金	1,023,000円				
	県支出金	195,000円				
	地方債	円				
	その他	928,410円				
	一般財源	12,126,120円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- 江津市生活路線廃止代替バス（井沢峠～跡市 運行状況 月～土 2往復/日）
- 江津市生活バス（桜江地域）
  - ・運行状況 月・木 三田地線・今田線・江尾線 各1往復/日、市山線・鹿賀線 2往復/日  
火・金 長戸路線・谷線・下の原線・江尾線 各1往復/日、市山線 3往復/日
- 江津市生活バス（江津中部地域）
  - ・運行状況 川平線 火・金 2往復/日 ※デマンド型  
松川波積線 月・木 4往復/日 ※デマンド型  
江津川平線 火・金・日 2往復/日
- 江津市生活バス（有福千田線）
  - ・運行状況 火・木 1往復/日 ※デマンド型
- 江津市生活バス（田津線）
  - ・運行状況 月～金 1往復/日 ※スクールバス混乗
- 江津市生活バス（長谷線）
  - これまで教育委員会の所管だった桜江中学校スクールバスの混乗便を、令和元年度から市長部局に移管し、生活バス長谷線として運行。
  - ・運行状況 月～土 2往復/日 ※スクールバス混乗
- 長谷地域相乗りタクシー ※令和元年度運行開始
  - 長谷地域を対象に、タクシー車両を利用し、川戸まで1往復デマンド運行する。
  - ・運行状況 火・木 1往復/日 ※タクシー車両使用・デマンド型

○事業の実績

運行区間	運行日数	乗車人数	1日あたり乗車人数	使用料収入(円)
江津市生活路線廃止代替バス				
井沢峠～跡市バス停	292	279	0.96	52,740
江津市生活バス（桜江地域）				
(鹿賀線) 鹿賀団地～桜江総合センター	93	113	1.22	40,730
(三田地線) 三田地上～川戸		30	0.32	6,000
(今田線) 川戸～(今田経由)～応儀医院前		101	1.09	19,700
(長戸路線) 長戸路集会所～桜江総合センター	97	1	0.01	200
(谷線) 上谷～桜江総合センター		50	0.52	10,000
(下の原線) 下の原～桜江総合センター		22	0.23	4,400
(市山線) 川戸～応儀医院前		190	377	1.98
(江尾線) 川戸～日和川橋★		424	2.23	82,600
江津市生活バス（江津中部地域）				
(川平線) 後谷～川平	85	371	4.36	69,600
(松川波積線) 波積町本郷～川平	63	300	4.76	60,000
(江津川平線) 川平～ゆめタウン江津前	145	1,182	8.15	331,640
江津市生活バス（有福千田線）				
本明～跡市バス停	1	23	23	4,600
江津市生活バス（田津線）				
岡田谷～桜江総合センター	240	16	0.07	3,200
江津市生活バス（長谷線）☆				
風の館前～川戸	288	575	2.00	168,600
長谷地域相乗りタクシー★				
長谷～川戸	59	99	1.68	-

★は平成31年4月運行開始

☆は教育委員会から所管替え

事業名	総合市民センター費		予算科目	会計	01	一般会計
				款	02	総務費
担当部署 [R2部署]	社会教育課	文化スポーツ振興係		項	01	総務管理費
				目	15	総合市民センター費
事業費		58,052,297 円	事業の目的・目標	江津市総合市民センターの維持管理と、各設備の修繕・改修工事を行う。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	22,100,000 円				
	その他	円				
	一般財源	35,952,297 円				

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

江津市総合市民センターの維持管理は、指定管理に関する基本協定に基づき指定管理者と分担し、市では大規模な改修・修繕工事を行っている。

#### ○事業実績

費目	金額 (円)	内容
需用費 (修繕料)	280,800	冷却塔支持金物交換
	404,000	ロビー階段上部天井漏水修理
	205,700	和室畳表替え
	99,000	事務室漏水修理
	453,600	空調機ダンパ操作器交換
	486,000	1階便所系統排気ファン更新
	381,260	非常灯バッテリー取替
役務費	59,737	建物損害保険
委託料	31,015,000	指定管理料
工事請負費	22,183,200	中央監視装置更新工事
	2,484,000	火災報知器・非常放送設備取替工事
合計	58,052,297	

#### ○月別利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
入館者 (人)	690	672	1,567	2,426	2,507	2,297	3,392
入館料 (円)	192,500	192,160	594,510	730,500	854,510	736,910	879,420
区分	11月	12月	1月	2月	3月	計	
入館者 (人)	5,358	2,882	2,950	1,794	525	27,060 人	
入館料 (円)	1,642,750	592,920	672,090	421,760	233,310	7,743,340 円	



中央監視装置更新工事



火災報知器・非常放送設備取替工事

事業名	地籍調査事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	02	総務費
担当部署 〔R2部署〕	土木建設課	地籍調査係		項	01	総務管理費
	〔管財課	地籍調査係〕		目	16	地籍調査事業費
事業費		16,020,841円	事業の目的・目標	国土調査法に基づく土地に関する基礎的な調査。一筆ごとの土地の所有者、地番及び地目を調査し、精度の高い測量法を用いて境界及び面積測定を行い、その結果を地籍簿及び地籍図にまとめる。その後、成果品について県からの認証を受け、法務局へ送付する。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	11,625,000円				
	地方債	円				
	その他	52,443円				
	一般財源	4,343,398円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

一筆ごとの土地について、所在、地番、地目及び境界の調査と登記簿に記載された所有者の表示事項の確認と境界の測量及び面積の測定を行い、調査結果を地図（地籍図）及び簿冊（地籍簿）に作成する。作成成果品について県知事への認証請求を行い、認証を受ければ、法務局への送付を行う。

○事業の実績（計画面積）

作業工程／調査地区	江津3区	嘉久志3区	嘉久志4-1区	嘉久志4-2区	黒松3区	嘉久志5区	黒松4区
地籍図根三角測量（C工程）	—	—	—	—	—	—	—
地籍図根多角測量（D工程）	—	—	—	—	—	—	—
一筆地調査（E工程）	—	—	—	—	—	0.42	0.10
地籍細部測量（FⅠ工程）	—	—	0.01	0.13	0.24	—	—
一筆地測量（FⅡ-1工程）	—	—	0.01	0.13	0.24	—	—
地籍図原図作成（FⅡ-2工程）	—	—	0.01	0.13	0.24	—	—
地積測定（G工程）	0.14	0.13	0.01	—	0.24	—	—
地籍簿作成（H工程）	0.14	0.13	0.01	—	—	—	—

○令和元年度末現在進捗状況

- ・江津市全体面積 268.51km<sup>2</sup>
- ・調査対象面積 255.85km<sup>2</sup>

※調査実施面積は、調査中（換算面積）を含む。

区 分		調査実施面積	進捗率
桜江地域（平成9年度 全区域完了）		102.96km <sup>2</sup>	—
江津地域 （平成10年度～）	川平町平田1～8区、波子町波子1～4区、嘉久志町嘉久志1～4区、川平町南川上1～5区、浅利町浅利1区、松川町上河戸1・2区、松川町下河戸1区、江津町江津1～3区、後地町後地1～7区、黒松町黒松1～3区、都治町都治1区、和木町和木1区	27.26km <sup>2</sup>	—
	ミニ国調（波積町、波子町、敬川町、有福温泉町の一部）	2.19km <sup>2</sup>	—
	19条5項関係（圃場整備、区画整理等で指定を受けたもの）	2.29km <sup>2</sup>	—
計		134.7km <sup>2</sup>	52.65%

事業名	人権啓発活動事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	02	総務費
担当部署 [R2部署]	人権啓発センター	人権同和啓発係		項	01	総務管理費
				目	17	人権啓発費
事業費					1,213,090 円	事業の目的・目標 人権問題に対する正しい認識を広めることにより、人権尊重思想の普及高揚を図り、基本的人権を擁護することを目的に人権啓発活動を行う。
財源内訳	国庫支出金				円	
	県支出金				330,000 円	
	地方債				円	
	その他				円	
	一般財源				883,090 円	

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

概要	要	決算額(円)
人権の花運動の推進	花を育てることによって、児童の人権感覚を高める。 参加校 郷田小学校、渡津小学校、江津東小学校、津宮小学校、高角小学校、川波小学校、及び桜江小学校（以上7校） 花の種ほか	104,239
人権問題講演会	テーマ：メディアと上手につきあおう 講師：今度 珠美さん 開催日：11月28日（木） 会場：江津市総合市民センター その他：「人権啓発作品展」を同時開催 参加者：370人  講師謝礼金 会場借上げ料 チラシ、ポスター印刷代 等	215,870
その他事務・事業費		256,981
全日本同和会島根県連合会負担金		61,000
浜田人権擁護委員協議会負担金		195,000
全日本同和会江津支部補助金		380,000
合 計		1,213,090

○事業の成果

インターネット時代を生きぬくうえで、プライバシーや人権を守っていくために個々にやってみたいこと、インターネット社会でのマナーを具体的にしっかり教えていただいた。中学校の生徒たちのアンケートからも真剣に受け止め、今までの意識を顧みて対応していこうとしている気持ちがかがえた。また、親世代の参加者も利用の仕方を親子で話し合いたいなどの反応もあり、良い機会になった。



人権問題講演会の様子

事業名	男女共同参画事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	02	総務費
担当部署 [R2部署]	人権啓発センター	男女共同参画推進係		項	01	総務管理費
				目	17	人権啓発費
事業費		321,172 円	事業の目的・目標	男女共同参画社会の形成に向け、市民への啓発活動を行うとともに、「第3次江津市男女共同参画推進計画」に基づく施策の推進を図る。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	321,172 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

概要	要	決算額(円)
男女共同参画講演会	開催日：2月15日（土） 会場：江津市総合市民センター 会議室 講師：坂田静香 (NPO法人男女共同参画おおた理事長) 演題：「防災セミナー ～高齢者・障がい者・子ども・女性などの視点からの防災～」  参加者：72名（うち男性25人）	216,359
男女共同参画推進委員会	開催日：1月29日（水） 内容：計画推進に関する意見交換・男女共同参画講演会準備	56,980
男女共同参画研修ほか	あすてらす開館20周年記念イベント、男女共同参画研修等に参加し男女共同参画意識の向上を図る。  あすてらす開館20周年記念イベント 開催日：11月16日（土） 参加者：5名	47,833
合計		321,172

○事業の成果

今年度の講演では、防災及び避難所運営に、女性をはじめ多様な視点を反映させることの必要性を理解していただくことを狙いに開催した。講師の具体的な問いかけから、必要な配慮や重要性に気づいていただけたことが、アンケートからも伺える。

感染症の時期でもあり、参加者が少なかったことは残念だが、自治会活動に関わる方々の参加が見受けられ、“女性を巻き込みたい”との感想も得ることができた。



「男女共同参画講演会」



あすてらす開館20周年記念イベント

事業名	私立高等学校振興事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	02	総務費
担当部署 [R2部署]	総務課	行政係		項	01	総務管理費
				目	18	諸費
事業費		44,000,000円	事業の目的・目標	少子化に伴う生徒数の減少により、経営状況が悪化している学校法人江の川学園に対し、引き続き支援することにより、同学園の教育、財務の健全性を高め、定住対策推進に資する。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	44,000,000円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

- 私立高等学支援特別対策補助金 44,000,000円

○事業の効果

- 少子化の影響で全国的にも生徒数が減少しているが、智翠館特別コース等の教育環境を充実させ、進学校としてのブランド強化、男女ラグビー部、吹奏楽部等の部活動部門の強化、スクールバスの運行、寮施設等の改修による住環境の改善などを行った結果、生徒数、寮生数、入学者数は増加しており、学校法人江の川学園の経営状況は改善してきている。

(単位：人)

年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31(R1)
生徒数	342	413	483	490	519	554	587	558	569	619
寮生数	126	146	181	201	246	304	346	318	307	314
入学者数	149	171	177	159	199	209	185	173	216	237
市内生徒数	111	118	125	118	112	108	114	115	120	121

